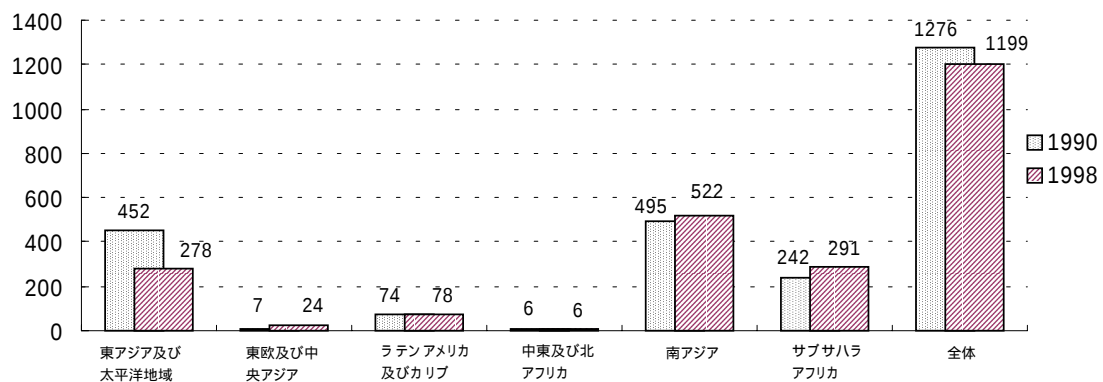


W T O 農業交渉日本提案詳細説明ペーパー 農村地域における農業の重要性（農村開発）

（２）世界的な農政上の課題としての農業の多面的機能、食料安全保障の追求
そのためには、各国が自然的条件や歴史的背景の違いを踏まえた多様な農業の存在を認め合い、その持続的な生産活動を通じて農業の多面的機能が十分に発揮できるようにしていくとともに、人類の生存にとって不可欠である食料の安定供給を確保していくことが基本となる。そのため、これらの課題を世界的な農政上の課題として認識した上で交渉を行っていくことが必要である。

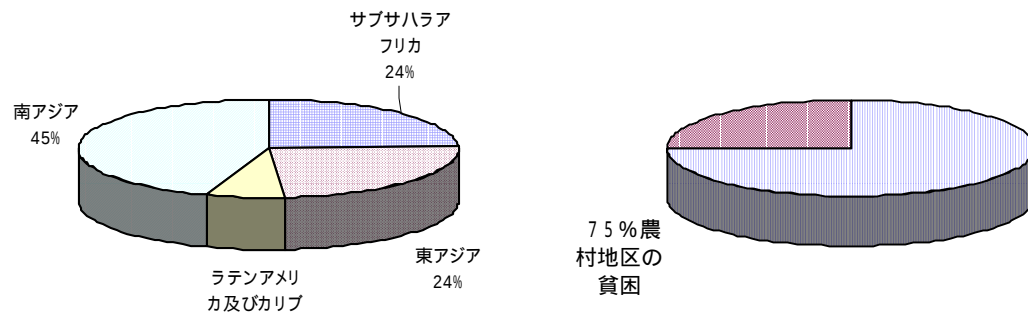
- ・ 農村地域において、農業は最大の土地利用者であり、農村地域の存続の主要な構成要素である。
- ・ １日１ドル以下で生活する貧困層は、世界規模では僅かに減少傾向にあるものの、依然として世界全体には約１２億人おり、地域によっては増加している。
 - １日１ドル以下で生活している人の数



出典：世銀「農村開発戦略」（２００１）

- ・ その１２億人の７５％は農村部に居住しており、農村地域における所得の確保は極めて重要な課題である。特に、農業以外の雇用が限られている地域において、農業活動の維持・発展は極めて重要な課題であり、社会的・政治的安定には不可欠である。

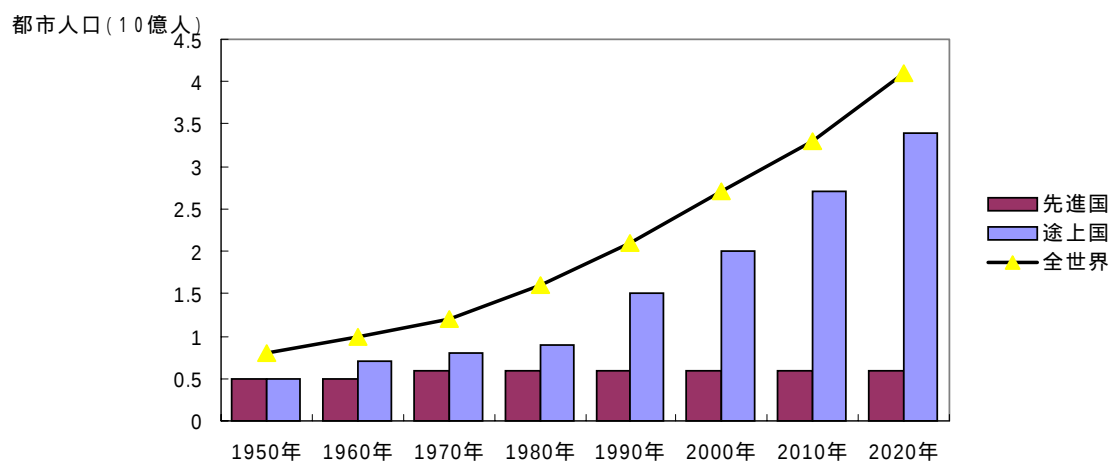
○ 農村の貧困人口の分布



出典：世銀報告（2000）

- ・ 農業就業人口の多い国にとって、適切な水準の農業雇用を維持することは極めて関心の高い事項である。
特に、少数の農産物の貿易に依存している小国では世界の貿易条件により大きな影響を受けやすい。
- ・ また、経済危機等の場合に農業は雇用吸収のバッファーとしての役割をもつとともに、急激な都市への人口移動を緩和する役割をもつ。
- ・ 開発途上国においては、現在のところ十分な農村地域政策がとられていないが、今後、農村の貧困人口の増加や急速な都市人口の増加に伴う都市の生活環境の悪化の問題等に対処するため、安定し分散していた農村人口を可能な限り維持していくことが必要である。

○ 都市人口の予測



出所：UNDIESA, World Urbanization Prospects, 1998

- ・ また、農村地域の活力の維持は、農村地域に受け継がれてきた自然環境や文化等を破

壊することなく継承していくためにも重要な課題である。

- ・ 以上のように、農村地域開発は、特に開発途上国においては貧困解消や国全体の経済開発と直接関係する重要事項であり、先進国においては、国土の均衡ある発展や環境等多くの問題と関係するものであるが、農村地域での人口の維持、そのために農業が果たす役割が重要であることは、各国に共通の重要な関心事項である。

(参考) 農業の多面的機能、食料安全保障の配慮の観点から見た日本提案の内容

本提案各項目において、農業の多面的機能、食料安全保障の考え方は、次のように反映されている。

1 市場アクセス

関税水準及びアクセス数量については、多面的機能の発揮及び食料安全保障の確保等に配慮し、品目毎の生産・消費の実情、国際需給の状況、農政改革の進捗状況等を踏まえ、柔軟性を確保して適切に設定する。

特に、UR交渉で関税化された品目は、各国における多面的機能の発揮や食料安全保障の確保の観点も踏まえ、十分な配慮を行う。

特別セーフガードについても引き続き存続させる。

2 国内支持

各国が農業の多面的機能の発揮及び食料安全保障の確保等に配慮しつつ、農政改革推進を図るため、実施の経験を踏まえた「緑」の政策の要件の改善、「青」の政策の存続、現実的な国内支持水準の設定を行う。

5 開発途上国への配慮

開発途上国にとって、食料の安定供給の確保が最優先の課題となっていることに十分配慮し、国境措置・国内支持に関する規律や水準につき柔軟性を認める。

また、二国間や多国間の食料援助のスキームを補完し、一時的な不足等の状況に際して現物の融資を行い得る国際備蓄の枠組みを検討する。

- ・ UR合意以降の世界の農業・農政の状況を見ると、農業自体はもとより、農業の有する農村地域の維持・活性化への役割の重要性はより一層明らかになってきており、それぞれの国において、国内農業生産を基本に位置付けていくことが可能となるような貿易ルールとしていくことが必要である。
- ・ このため、多角的貿易ルールは、各国の農村地域における農業の共存を可能とするも

のでなければならない。

- ・ そのためには、改革過程の継続は、農業協定第 20 条に則りつつ、各国の農業の共存を可能とするよう、国内支持や市場アクセスの規律において柔軟性を持たせることが必要である。緑の政策だけでは、農村開発を達成することはできない。農業収入増加のため、開発途上国産品特に LDC 産品に対する市場アクセスは重要であるが、それだけでは問題は解決しない。
- ・ 我が国の交渉提案の上記部分は、以上を背景に作られたものであり、今後更に各国との対話を深めていきたい。